

奈良県の環境の現況について (令和元年度、公害苦情)

- ・ 令和元年度に県及び市町村で新規受理した公害に関する苦情件数は、770件で前年度より52件減少している。
- ・ 新規直接受理した苦情の内容をみると、典型7公害に係る苦情は387件（50.3%）で前年度より3件増加しており、また典型7公害以外の苦情は383件（49.7%）と55件減少している。
- ・ 典型7公害の苦情件数は、水質汚濁127件（16.5%）、大気汚染94件（12.2%）、騒音92件（11.9%）、悪臭66件（8.6%）と、上位4公害で典型7公害の97.9%を占めた。
- ・ 典型7公害以外の主なものは、不法投棄266件などがある。

種類別苦情件数(新規直接受理)

典型7公害								典型7公害以外	合計
大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	小計		
94	127	1	92	6	1	66	387	383	770
12.2%	16.5%	0.1%	11.9%	0.8%	0.1%	8.6%	50.3%	49.7%	100%
-8	3	1	18	5	1	-17	3	-55	-52

下から二段目は全件数に対する割合、最下段は前年度からの増減

上位4公害の発生源別苦情件数

水質汚濁	流出・漏洩	産業排水	廃棄物投棄	家庭生活(その他)	左記以外	合計
	48	10	0	1		
大気汚染	焼却(野焼き)	工事・建設作業	焼却(施設)	産業用機械作動	左記以外	合計
	63	14	7	0		
騒音	工事・建設作業	産業用機械作動	家庭生活(ペット)	カラオケ	左記以外	合計
	39	11	2	4		
悪臭	家庭生活(その他)	流出・漏洩	焼却(施設)	産業排水	左記以外	合計
	22	2	1	2		

